



Vol. **134 & 135**
2016.2.20

はつらつ 通信



●発行 医療法人北志会 札幌ライラック病院
●編集 はつらつ通信局

新理事長、就任

前理事長の意志を継いで

その訃報は突然でした。昨年11月26日早朝、当法人の志田一彦理事長が通勤途中に倒れ亡くなったとの一報が当院に入ったのです。病名は急性大動脈解離。それまでの体調にはなんの異状もなく、職員にもご家族にもまさに青天の霹靂でした。この場を借り、地域の皆さまの生前のご厚誼に深く感謝申し上げます。

そして1月8日(金)、理事会の承認を受け、志田勇人医局長が理事長に就任しました。

新理事長を迎え、新たなステージへ

空席だった理事長の後継を前理事長の子息が務めることとなり、当法人は世代交代を果たす結果となりました。近年は人工呼吸器装着の患者さまの受け入れ、人工透析室の開設と、地域に求められる新しいサービス提供に力を入れてきた当院は、この2016年、若き新理事長のもとで新しいステージを迎えます。

「一意専心、地域医療のために全力を尽くす所存でございます。前理事長同様、皆さまには変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます」と志田理事長。今号では、新理事長に今後の抱負を聞きます。



志田勇人新理事長



職域を越えたチーム医療、地域連携、開かれた病院づくり すべては地域の皆さまのために

初の「小中学生作品展」と「びょういんあーとぶろじえくと」 ロビーで楽しむアートなひととき



▲表情のある線の面白さがドローイングの魅力



▲「唐神知江ドローイング展」は3/21まで

この冬もアートを展示

志田理事長が今後も力を入れていきたいと語った「びょういんあーとぶろじえくと」。この冬は「ひかりの庭」と題して、市内2カ所での展示会とコンサートが企画されました。当院の待合ロビーでは、唐神知江ドローイング展を3月21日(月)まで開催中です。

子どもの作品展も好評

昨年には、約3週間の短い会期でしたが、初めて「小中学生作品展」を開催。アーティストの作品が中心となる「びょういんあーとぶろじえくと」とは趣を変え、さまざまな賞を受賞した地域の子どもたちの絵や書道が展示されました。

観る方々は、作者の子どもの年齢や通っている学校名も含めて鑑賞。ご自身のお孫さんと比較したり、ご家庭で話題にしたりと、これまでとはまた違う広がりがありました。「開催のきっかけは地域の方からのご提案。当院が地域に開かれている証と、うれしく感じました」と地域連携部の高田麻実主任。今後も多様なアートとの出会いが期待できる待合ロビーとなりそうです。



▲豊平区長賞
「水をのんでいるうしの絵」は
あやめ野小学校2年生の作品



▲清田区長賞
「銀河鉄道の夜」は
北野小学校6年生の作品



▲「小中学生作品展」

や「びょういんあーとぶろじえくと」など外部との連携、職員のスキルアップ支援にも力を入れていきたいと語りました。

昨年1月の開院30周年、今年1月の新理事長就任は、当院にとっての大きな節目。新理事長のもとで職員一同もいまだ地域医療の基本に立ち返り、全院で理念実現に一意専心で臨みます。



を支える責任ある立場。前理事長の四十九日を翌日に控えた12日(火)の全体朝礼では、就任挨拶とともに職員に向けて新たな基本理念と基本方針を発表しました。(下欄参照)

重視していきたいのは、チーム医療や地域連携といったつながりの強化と、医療の質の向上。「職員がひとつのチームであることを意識して信頼し合ってほしい。これは生前に父が言い続けていたことでもあります」と志田理事長。地域の医療機関

父の意志を受け、 2代目理事長の席に

当院は、31年前の1985(昭和60)年に地域から愛される病院をつくるという理念のもと、前理事長によって開院されました。その後、変化する時代や地域のニーズに提供サービスを対応させ、現在は訪問診療、訪問リハ・訪問看護・デイケアといった在宅サービスのほか、内視鏡検査の実施、人工呼吸器装着の患者さまや入院透析患者さまの受け入れも進めました。

「当面は現状をさらに延ばしてい

く方向で考えています」と志田勇人理事長は方向性を語ります。志田理事長は帝京大学医学部卒で、同大の麻酔科・内科、札幌手稲溪仁会病院を経て、4年前の4月に当院へ入職。やがては父・彦前理事長の跡を継ぐことになるだろうとは思っていましたが、「まさかこんなに早くとなるとは」と目を伏せました。

次代を見据えて発表 新たな理念と基本方針

家族の急逝に心を痛める遺族である志田理事長は、一方で地域医療



医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一、患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二、専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三、職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四、職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院を受診される皆様にご協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝えください。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問してください。
3. 治療やケアの方針を決める時には、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加してください。
5. 院内では常識的な社会人として行動してくださるようお願いいたします。
6. 札幌ライラック病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 札幌ライラック病院では、各階に意見箱を設置しています。ご意見やご希望がありましたら、ご遠慮なくご利用ください。

医療職を目指す高校生が当院で職業体験

若さに触れ、初心に戻る思い

看護・医療系志望の4名が現場を体験

昨年8月に続き、11月5日(水)

にも高校生の職業体験を受け入れました。今回は啓北商業高校2年生4名。同校は2年次から進路に合わせて会計・情報・国際の3つのコース別カリキュラムが選択できるシステムで、職業体験に参加した学生は国際コースで看護・医療系を志望し、看護専門学校進学を



デイケアのご利用者さまとも積極的にコミュニケーション



目指しているとのことでした。

そこで、学生たちの期待に応えられるよう、今回は通常の高校生職業体験で行っているメニューに、専門知識に触れられる機会をプラス。放射線科では技士長が検査について説明をしたり、デイケアでは昼食時には管理栄養士が献立について解説しました。

具体的な質問などすべてに積極的

進路が明確な4名は、この職業体験から多くを学び取ろうとする意欲にあふれていました。午後

のデイケア体験でも、ご利用者さまに自ら話しかけ、能動的にコミュニケーションをとっていました。

体験終了後の質疑応答も積極的に、「看護専門学校の面接では学生のどこを見ますか?」「看護師に必要な人間性とは?」「どんなことにやりがいを感じますか?」など具体的な質問が続出。担当職員からは「楽しかった」「初心に戻る思いがした」との感想が聞かれました。

職業体験で当院にいらした高校生の皆さん。看護師の夢がかなったときは、ぜひお顔を見せに来てくださいね。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

内科、消化器内科、整形外科、神経内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、リハビリテーション科

診療時間

平日 9:00~12:30 13:30~17:00

土曜 9:00~12:00 午後休診

※但し急患の方は上記に限りず随時受付いたします。

面会時間

平日 14:00~20:00

土日祝 12:00~20:00

ホームページ

<http://www.lilac.or.jp/>



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号
TEL(011)812-8822

デイケアのボランティアさん募集中!

こんな活動をしてみませんか?

- ①お茶出しや食事の配膳の手伝い、お話し相手
- ②書道や絵手紙など趣味活動の講師役、特長の発表

活動時間 ①9:30~12:30 ②14:00~15:00

お問い合わせはデイケア・中田まで